

# 2018年度「IBC グラント」支部支援枠公募要綱

2018年10月

一般社団法人 日本ALS協会

## 1. 趣 旨

2014年夏のIBC（アイス・バケツ・チャレンジ）により、多くの方々にALSのことが認知され、ご寄付をいただきました。深く感謝申し上げます。

協会では善意のご寄付を用いて、患者の相談活動の最前線に立つ日本ALS協会の都道府県支部を支援する特別枠を今年度から設けることにしました。支部の中には活動資金不足などの要因により患者からの差し迫った相談に十分に対応できないところもあり、支部の強化は喫緊の課題になっています。

## 2. 交付予定額及び件数

1件につき15万円を8件

## 3. 応募資格

日本ALS協会の都道府県支部

## 4. 応募方法

原資が貴重なご寄付であることから資金が透明性を持って確実に使われることを担保するため、申請書で公募を受け付ける。本部の地域ブロック担当理事が活動が停滞している支部や支部助成金が少額な支部に積極的に打診の上、必要に応じて申請書の起案を手伝うこととする。なお、過去にIBCグラントの助成を受けた支部は支部支援枠の対象外とする。

## 5. 助成の使途

一過性の資金であることから、単独の事業ではなく今後の支部活動を活性化させる契機とすることを目指す。使用期間は3年間までとし、使用が終わった後でJALSAホームページに掲載する会計報告と事業報告を提出する。具体的な使途の例示としては、

－後継者発掘のための勉強会や懇親会

－自治体や企業からの助成金獲得を視野に入れた実績作りとしての事業実施

－他支部の事業成功例の視察

－支援・相談活動の向上を目指した医療・介護・福祉制度などに関する勉強会

－HP開設・運営や会報発行

－備品購入

－支部運営についての研修会（複数支部を対象とした研修会も可とするが申請は中心となる一つの支部から行う）

など

## 6. 選考方法

### (1)基本方針

審査の結果優れたものから採択すると、申請書を書きなれた力量のある支部の案件が採択されることになり、不採択となった支部はどう書けばよかったのかわからないことが危惧され、活動が停滞する支部の活性化につながらないことが懸念される。そこで、選考委員が一定水準に達しないと考える申請書については改善点を指摘の上、提出支部に書き直してもらうことにする。その上で水準を超える申請が8件より多ければ、抽選で採択する。

### (2)具体的選考プロセス

申請をブロック担当理事8名で審査する。内容と書き方のそれぞれについて○か△で評価し、△とした場合は必ず改善点について意見を記す。○が5つ以上で合格として、4つ以下の場合はその支部担当のブロック担当理事が協力して支部に改善意見を参考に申請書を書きなおしてもらう。このプロセスを○が5つ以上になるまで繰り返す。最終的に合格案件が8を上回る場合は抽選で8件採択する。抽選の結果不採択となった支部は来年度同じ申請書での応募を可能とする。

## 7. スケジュール

(1) 申請書は、2018年11月30日までに下記提出先に郵送してください。(当日消印有効)

(2) 2019年1月末までを審査期間とします。

(3) 2019年2月中に申請者に結果を通知し、助成金を交付します。

## 8. 選考委員

長谷部 ひとみ	日本ALS協会	理事	(北海道・東北ブロック担当)
照川 和久	日本ALS協会	理事	(関東ブロック担当)
織田 昌代	日本ALS協会	理事	(北陸・甲信越ブロック担当)
水江 孝之	日本ALS協会	理事	(東海ブロック担当)
増田 英明	日本ALS協会	副会長	(近畿ブロック担当 患者)
市川 貴子	日本ALS協会	理事	(中国ブロック担当)
久保 尚	日本ALS協会	理事	(四国ブロック担当)
里中 利恵	日本ALS協会	理事	(九州・沖縄ブロック担当)

## 9. 申請書の提出先及び問い合わせ先

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-15-15 瑞鳥ビル1階

一般社団法人 日本ALS協会 事務局

TEL : 03-3234-9155

FAX : 03-3234-9156

Eメール : [jalsa@jade.dti.ne.jp](mailto:jalsa@jade.dti.ne.jp)